



つなぐ、むすぶ、広げる、未来へ

The Next Perspective

株主通信

YBHD NEWS No.49

平成29年2月



株式会社 横河ブリッジホールディングス

証券コード：5911



代表取締役社長

荒井 久司

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、株主通信「YBHD NEWS」第49号をお届けいたします。

我が国経済につきましては、雇用や所得環境の改善が続き、企業業績も底入れしつつありますが、今年1月に誕生しましたアメリカの新政権が保護主義色の強い政策方針を打ち出し、海外だけでなく国内経済にも不透明感が強まっています。

建設投資につきましては、東京オリンピックに向けた交通インフラの整備や都市部の再開発プロジェクトなど、今後も堅調に推移するものと思われまます。当社グループの中心事業であります橋梁事業では、新設橋梁の発注量が減少する一方で、橋梁の維持・補修が大きな課題となっており、今後は高速道路会社を中心に大規模更新事業・大規模修繕事業が本格化すると思われまます。本プロジェクトは継続的な発注が期待できるため、豊富な経験と高い技術力を活かし、施工実績の上積みに取り組んでまいります。また、システム建築事業等のエンジニアリング関連事業にも一層注力し、企業基盤の強化とグループ経営の発展に努めてまいります。

第4次中期経営計画の初年度にあたる平成29年3月末の業績は当初の予想を上回る見込みですが、新設橋梁の発注量の減少が続いており事業環境は年々厳しさを増しております。そのため、新設橋梁の受注量を確保しながら橋梁保全事業においても規模の拡大と採算性を両立できる体制を築いてまいります。

今後も役員・従業員一同、株主の皆様のご期待に応えられますよう努力してまいりますので、引き続き倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年2月

平成29年1月30日に、平成29年3月期第3四半期(平成28年4月1日から平成28年12月31日まで)の決算短信を公表いたしましたので、その概況につきましてご紹介いたします。

連結経営成績(累計)

	平成29年3月期第3四半期	平成28年3月期第3四半期
売上高	83,974 百万円	78,684 百万円
営業利益	6,563 百万円	4,847 百万円
経常利益	6,717 百万円	4,994 百万円
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,962 百万円	3,141 百万円

【連結経営成績に関する定性的情報】

当社グループの当第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)における受注高は、639億9千万円となり、前年同期比で27.9%の減少となりました。

セグメント別の受注高といたしましては、橋梁事業309億3千万円(前年同期比43.4%減)、エンジニアリング関連事業292億1千万円(同9.6%減)、先端技術事業38億4千万円(同107.9%増)となりました。

決算面につきましては、当第3四半期累計期間の売上高は839億7千万円(前年同期比6.7%増)、営業利益は65億6千万円(同35.4%増)、経常利益は67億1千万円(同34.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億6千万円(同37.5%減)となりました。四半期純利益は昨年4月に発生いたしました橋桁落下事故に伴う特別損失の計上により減益となりましたが、売上高・営業利益・経常利益につきましては、それぞれ第3四半期連結累計期間として過去最高となりました。

ました。

セグメント別の売上高といたしましては、橋梁事業の売上高は橋桁落下事故の直接的・間接的影響から低迷が続きましたが、第2四半期終盤から回復の傾向がみられ、さらに第3四半期には大型工事の最終設計変更による増額の計上が重なりました。その結果、売上高は478億5千万円(前年同期比5.9%減)にとどまりましたものの、営業利益は増益の34億5千万円(同9.1%増)となりました。

エンジニアリング関連事業の売上高はシステム建築事業に加えてシールドトンネル用セグメント、防潮堤などの土木関連事業の伸長により売上高は322億7千万円(前年同期比26.6%増)、営業利益は31億8千万円(同53.2%増)と前年同期をそれぞれ上回りました。

先端技術事業につきましては、精密機器製造事業の好調な受注により、売上高は32億6千万円(前年同期比84.4%増)、営業利益は5億円(同113.3%増)の増収増益となりました。

平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	平成29年1月30日発表	平成28年10月31日発表
売上高	115,000 百万円	115,000 百万円
営業利益	7,700 百万円	7,000 百万円
経常利益	7,800 百万円	7,100 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	4,200 百万円	4,200 百万円
1株当たり当期純利益	100円48銭	100円00銭

【連結業績予想に関する将来予測情報】

売上高は概ね計画通りに進捗しておりますが、大型工事の最終設計変更による増額などが寄与した結果、第3四半期において営業利益と経常利益が上振れいたしました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、第2四半期で計上いたしました橋桁落下事故に伴う損失額が今後増減する可能性があり、関連する受取保険金も確定に至っておりませんので、現時点では据え置きとさせていただきます。

Topics 1

もとが 新本部大橋架設工事のご紹介 ～沖縄県で初となる送り出し架設工法で施工～

株式会社横河ブリッジより、新本部大橋架設工事についてご紹介いたします。

工事名称: 国道449号新本部大橋橋梁整備工事
 工期: 平成26年10月11日～平成29年3月20日
 発注者: 沖縄県
 施工者: 横河ブリッジ・宇部興産機械・福地組JV
 橋梁形式: 鋼5径間連続鋼床版桁橋
 橋長: 330m、幅員: 10.75m
 所在地: 沖縄県本部町渡久地地先



本橋は沖縄本島北部の本部半島先端に位置し、名護市と沖縄海洋博公園を結ぶ主要道路に架かる橋です。現橋は2車線であり通行上の制約となっているため、本工事で新しく2車線を増設し、合計4車線といたします。当社を含むJVは現在施工中の側径間(P3～A2)のほか、その後始まる中央径間(P2～P3)の工区も受注しました。

現橋は当社が施工し、昭和50年に竣工しましたが、この背景には、その年の7月20日から翌年の昭和51年1月18日まで開催された沖縄国際海洋博覧会に間に合わせるために建設されたという経緯があります。現在、海洋博覧会会場跡地は公園が整備され、世界最大級の美ら海水族館が一大観光スポットとなっており、観光シーズンになるとたくさんの人々で賑わいます。

施工にあたっては、架設地点が港湾内のためベントが設置できないことから、沖縄県内では初めてとなる、手延べ機を用いた送り出し架設工法が採用されました。A2橋台後方100mを作業ヤードとし、複数回に分けて桁の組立～溶接～金属溶射～塗装を行いました。通常、送り出し架設工法は手延べ機の先端が橋台に到達する直前に桁が大きくなりますが、今回は手延べ機の先端にたわみ取り装置を取り付けたことにより、この問題を解消することができました。

送り出し架設工法は沖縄県として初めて採用された工法であるため、お客様をはじめ関係団体や地元の方々など大勢の見学者がいらっしやいました。現橋に並行して架設作業が行われたため、見学者にとって理解が深まる現場であったと思います。

側径間(P3～A2)の架設完了後、中央径間(P2～P3)の架設を行います。中央径間は航路部にあたるため、航路閉鎖を最小限にした大ブロック一括吊り上げ工法が採用されました。この工法もまた、沖縄県内では初めてであり大きな関心を集めています。なお大ブロックは、当社の大阪工場^{えいこう}で台船に搭載され、現地まで曳航します。

3月中旬には送り出した桁の降下が完了し、中央径間の工事に移りますが、4車線が供用された後には、沖縄海洋博公園など本部地域の観光拠点へのアクセス向上が期待されています。



送り出し架設の様子



手延べ機先端がP3橋脚に到達

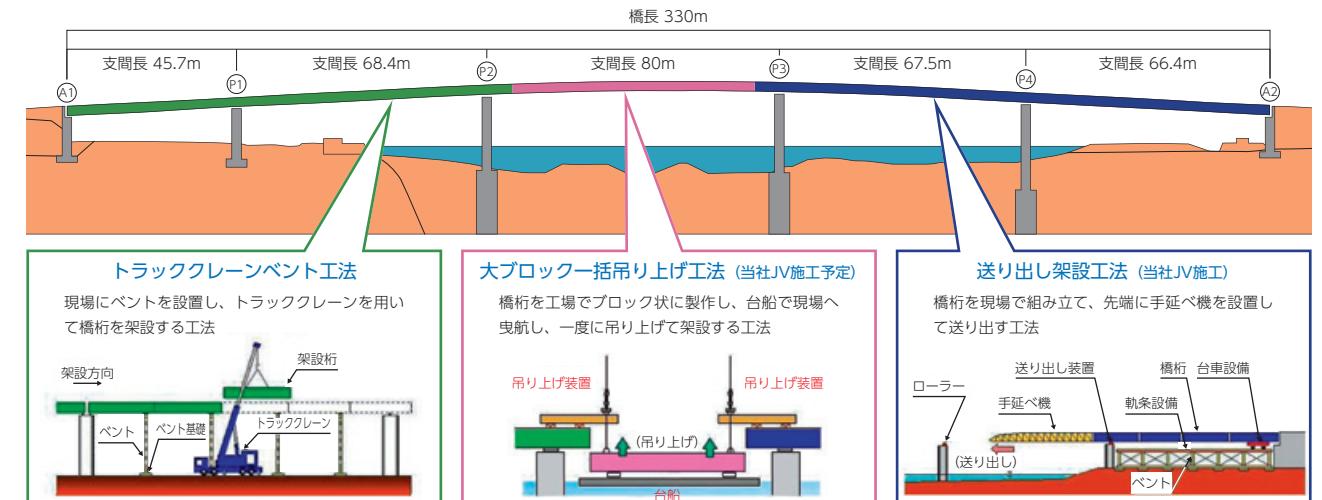


高速フェリーが橋をくぐる



送り出し架設完了

新本部大橋側面図および架設工法について



Topics 2 (有)国内興業運輸航空貨物仕分場新築工事

株式会社横河システム建築より、(有)国内興業運輸航空貨物仕分場新築工事についてご紹介いたします。

工事名称: (有)国内興業運輸航空貨物仕分場新築工事

建物概要: 建築面積 3,581㎡

建物幅 53.2m 建物長さ88.4m 軒高12.1m

所在地: 千葉県山武郡芝山町香山新田58-1

今回、ご紹介いたします(有)国内興業運輸航空貨物仕分場は成田空港の隣接地に建設されました。お施主様は成田空港で長年にわたり運輸業を営んでおられます。平成18年にyess建築にて工場を建てられておりリピーターのお施主様になります。かつて弊社がお付き合いをさせて頂きましたお施主様が、数年後にまた指名して下さることは大変喜ばしいことでもあります。当時納めた弊社の商品がお施主様の業績に寄与できましたことを実感いたしますし、またその建物が評価されましたことも考えますと感慨深いものがございます。

本建物の特徴は、荷物を保管するために広いスペースを自由に使用したいとのご要望がありましたので弊社の得意とする無柱大空間で構成いたしました。また事務所からは成田空港の全景を一望できるようにとのご要望もございましたので、2階を作り壁全体に空港を見渡せる大きな窓を設けました。機能性を追求した建物ではありますが、外壁は断熱性能の高い材料を採用し、屋根をパラペット(壁)で囲むことで外観上も高級感のある建物となっております。

竣工式の会場でお施主様より、「想像していた以上の建物が完成した。こちらの要望を全て叶えてもらい大変満足しています」とのお言葉を頂きました。一般的に制約が多いと思われることもあるシステム建築ですが、弊社ブランドのyess建築はこれからも、お施主様の様々なご要望に対して柔軟に応えてまいります。



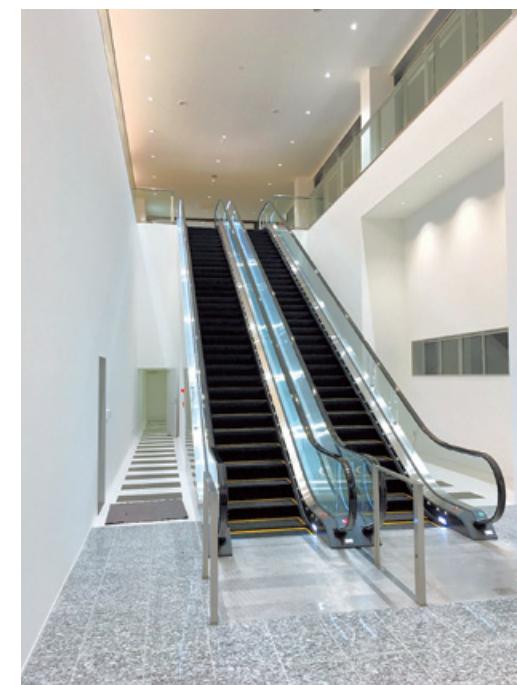
建物外観



幅広いスペースが確保できる無柱大空間を採用



成田空港を一望する開放的な空間



高級感のある空間を演出

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金 交付株主確定日	毎年3月31日、なお、中間配当を行う場合は、 毎年9月30日
定時株主総会 単元株式数	毎年6月下旬 100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 〒100-8233 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他 やむを得ない事由によって電子公告による公 告をすることができない場合は、日本経済新 聞に掲載して行います。
公告掲載URL	http://www.ybhd.co.jp/

YBHDグループ



株式会社 横河ブリッジホールディングス

グループ全体の経営管理



株式会社 横河ブリッジ

橋梁・橋梁関連製品・土木・建築・保全・精密機器製造



株式会社 横河システム建築

システム建築・開閉式建築システム・環境



株式会社 横河住金ブリッジ

橋梁・橋梁関連製品・セグメント



株式会社 榎崎製作所

橋梁・水処理・環境製品・鉄構製品



株式会社 横河技術情報

情報処理サービス・ソフトウェア開発



株式会社 横河ニューライフ

不動産管理・情報システム・人材派遣



株式会社 ワイ・シー・イー

橋梁等構造物の総合エンジニアリング

表紙の写真

河口湖大橋

所在地 山梨県富士河口湖町地内

構造形式 5径間連続鋼床版桁橋 橋長500m

その名称どおり、河口湖の南北に架かる橋梁です。建設当時は有料でしたが、平成17年6月より無料化されました。天候に恵まれれば霊峰富士の姿を目にすることができます。



株式会社 横河ブリッジホールディングス

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目4番44号 TEL. 03-3453-4111(代表)

<http://www.ybhd.co.jp/>

